

有名進学校の厳しい現実

あるサイトでの

「次女が進学校で落ちこぼれています。どうしたらいいでしょうか？」

との母親の質問と、それに対する3名の方の回答を紹介します。

① 中学でトップクラスだった生徒たちが集まってくるわけですから、中学以上に努力しなければどんどん成績が下がるのは当たり前のことです。

進学校といわれる高校は、生徒自らの勉強へのやる気と、高い学習能力があるのが当然、この前提の元に授業もどんどん進みますから。

いざ合格・入学して安心してしまい、あるいは気が抜けてしまい、という生徒も最近は多いですし、高校入試が能力の限界だったと言う生徒もけっこう増えています。

逆に、中学同様に、あるいはそれ以上に努力を続ける生徒も当たり前のようになっていますし、苦も無く授業について行く頭の良い生徒もいます。

きっとあなたの次女は前者だったのでしょうかね。

あなたが母親としてまずできることは、周囲の同級生と「次女」を比べないことだと思います。

それと、「まだできる」ではなく「中学校だからできた」と思うことでしょう。

かつてトップクラスにいた「次女」は、心の中で挫折感やジレンマに悩んでいるのかもしれませんが。

それ故の逃避活動に陥っているのかもしれませんがよ。

それに追い打ちをかけるように、言葉には出さずともあなた自身も態度が冷たくなっているでしょう。

あなたの希望や不安など、どうでもいいことです。

今はそっとしておいてあげましょう。

② 私も娘さんと同じような子でした。中学では常に一番。でも県内一の高校に進学したのはいいものの、上には上がいて、どんなに頑張ってもトップクラスにはなれませんでした。

私は中学のときは常にトップにいる自分が快感で勉強してたんですよね。だから高校にいつて、どんなに頑張ってもトップにはなれず、勉強やるのをやめてしまったんです。

そしたらあれよあれよという間に成績は最後の方。

それからは、やってもやってもやってもダメでした。

生まれて初めて「自分はそんなに頭がよくなかったんだ」と思い知らされました。
苦しかったですね、あの高校に通っていた三年間は。
大学はかろうじて地元の三流大学。
中学時代には意識もしなかった同級生も同じ大学にいました。
「結局この人と同じ学歴なんだ・・・」、自分が惨めでした。
その後は何となく社会に出て結婚。今は子供がいます。
ただの専業主婦です。
大卒と言っても、何の資格もありませんので、子育てが終わっても就職は見つからないでしょう。
ただ中学校の成績が良いだけで、塾の薦めるままに高校へ進学し、目標ももてないままになんとなく三年間を過ごし、流れで大学へ。
悪いのは自分だとわかっていますが、高校時代がトラウマになっていて、何をやっても自分はダメとってしまいます。
もう一度人生をやり直せるなら、中学校に戻りたいです。
学校名に拘らず、将来の目的をしっかり持って、今度は良い思い出が作れそうな高校を選びます。
間違ってもあの高校は選びません。
もちろん、自分の子供達にもあの高校は薦めません。
次女さん、このまま今の高校にいてもダメージが深くなるだけでしょう。
回り道になるかもしれませんが、別の方向そういう道に進ませてもいいのではないのでしょうか？

- ③ さくらさんのレスを読んで、私も悲しい過去が蘇りました。
私も中学校では、何度か1番になりました。
そして、わけもわからないまま（完全に親と塾の後押しですね）、 トップの進学校へ。
授業にも何とかついていけましたので、期待してのぞんだ最初の成績が200番台。
ショックでした。
もう、絶望的でした。
やる気も起こりませんでした。
あの高校すすめた塾を恨みました。（当時はですよ）
高校生になってその塾へも英語や数学なんか質問に行ったのですが、塾講師の反応は「???・・・」。
そんな程度の知識なら人に進学校なんかすすめるなよ、行かせたのお前たちだろっ！
そう思いました。（もう心は荒れ放題でした）
自分より頭の良い人は、ゴロゴロいます。
それが有名進学校なのです。
上位は毎回変わらない。

同じテストを受けても、合計点は私の3倍以上。

親は、すぐに

「頑張って!」「あなたならできる!」

進学校に行ってもいなくせに、何がわかるの?

そんな頭の良い連中とバカな私がどうやって戦えると言うの?

試験のたびに自分があわれになるだけでした。

さくらさんは大学へ・・・、いいですね。

私は、ぜんぶ放棄、ついでに高校も。

でも、専門学校へ入りなおして、今はそこそこの人生です。

トラウマ?たしかにありますね。

あれ以上みじめな時代は今もってありませんから。

あの経験があるから今がある、なんて無責任な話もよく聞きますが、あれがなかったらもっと良かった・・・、今でもそう思いますよ。